



広報

# あいこうか

# 11/15

No.178

## CONTENTS

中嶋市政3期目スタート .....	2
市内どこからでも「特認校」へ通学できます .....	3
FBC秋花壇 甲南中部小学校が大賞を受賞 .....	7
元気なまちかど .....	8
情報のまど .....	11
ものづくりこうか .....	16



ちびっこ消防士の活躍 ～みなくちフェスタ2012・放水体験～ (関連記事は5ページ)

# 中嶋市政3期目スタート

10月14日に執行された甲賀市長選挙で三選した中嶋武嗣市長が任初期日の10月31日、市役所玄関で職員約200名に迎えられ、登庁しました。

登庁後、課長級以上の職員を前に訓示を行ない、「職員は、市民に寄り添う姿勢が大事であり、共に素晴らしい誇り高い甲賀市をつくるために全力を注いでもらいたい」と呼びかけました。



▲職員に迎えられ初登庁する中嶋市長

## 5つの柱に「生活感幸」を

甲賀市長 中嶋 武嗣

### ■地域の自立に向けて強い決意

このたびの市長選挙において、多くの皆様からのご支持をいただき、三たび市政を担わせていただくことになりました。気持ちも新たに甲賀市発展のために全力を注いでまいります。私たちの甲賀市は、誕生してから間もなく10年という大きな節目を迎えます。これまでの8年間、市民皆様の市政推進に対する格別のご理解とご協力をいただきながら、合併当初の混乱期から安定期、さらには発展期へと着実に前進してきました。

私は、今回の選挙において、「守る」「育てる」「変える」「創る」「伝える」の5つを柱に、62項目を公約とさせていただきます。この公約を実現するためには、「災害は忘れた頃にやってくる」という諺を忘れず、まず何よりも危機管理を怠らず、万全を尽くさなければなりません。

その上で、「地域の自立」に向けて、培われてきた歴史や伝統、文化を貴重

な財産としながら、甲賀市が輝かしい未来へ向けて進化させていかなければならないという、私の強い決意を込めております。

### ■これからの行政サービス

当市では、教育や福祉の充実、産業振興、道路インフラの整備など、県下の水準以上の行政サービスを心がけながら、他の市を先駆けるいくつもの事業に取り組んできました。例えば、子どもの医療費の助成や、各小学校区を単位とした自治振興会、住宅リフォーム助成、当市独自の総合的食料供給力という観点で学校給食食材の確保や放射線測定などは、その代表的なものです。

しかし、激しく変化している時代の中で、さらなる必要となってくる事業も予測できます。高齢化への対応、子育てへの支援、防犯防災、獣害対策、農業や商工業の振興など、あらゆる分野に、これまでと違った発想で取り組まなければなりません。

市は、これらの課題にしっかりと対応しながら、無駄を徹底的に排除した行政改革と強い財政基盤を築き、スリムでスピード感のある質の高い仕事を進めてまいります。

### ■市民皆様がまごづくりの主役

同時に、市民皆様にもできるだけでなく市政に参画をいただき、地域経営の在り方に対し、幅広いご意見をいただく機会を設けていきたいと考えています。

これからのまちづくりの主役は、オール市民であります。地域の事は地域で決める「地域の自立」が目標です。甲賀市という大きなフィールドでプレーするのは市民皆様であり、プレーしやすいフィールドを管理するのが行政です。

私は、この4年間「生活感幸」ということを市政の理念に置きたいと考えています。日々の暮らしに誰もが幸せを感じることができる市民生活の理想の姿である「生まれて良し」「住んで良し」「生きて良し」を実現できる「理想郷・甲賀」が私の目標とするところです。

市民の皆さんと共に素晴らしい甲賀市をつくってまいりますと強く意を決しております。

# 「特認校」で学んでみませんか

～ 市内どこからでも「特認校」へ通学できます ～

児童が通学する学校は、教育委員会が定めた通学区域により指定した小学校に就学いただいています。

甲賀市の「特認校制度」とは、従来の通学区域は残したままで、特色ある教育を推進している児童数のきわめて少ない学校を「特認校」に指定し、その魅力ある教育活動のなかで「児童を学ばせたい」、「学びたい」という保護者・児童に対して、市内全域からの就学を認めるものです。

甲賀市では平成25年度から、次の5校を特認校に指定します。

### 【特認校に指定する小学校】

特認校	所在地	電話番号
あいが 鮎河小学校	〒528-0202 土山町鮎河1201番地	69-0004
やまうち 山内小学校	〒528-0208 土山町黒川1536番地	68-0004
こうなんだいきん 甲南第三小学校	〒520-3305 甲南町野川840番地	86-2038
あきみや 朝宮小学校	〒529-1842 信楽町下朝宮268番地	84-0003
たらお 多羅尾小学校	〒529-1821 信楽町多羅尾2012番地	85-0004

必要事項を記入し、希望する特認校または、市教育委員会学校教育課へご提出ください。

※特認校就学申請書は、各小学校、各地域市民センター窓口および教育委員会学校教育課(甲南庁舎2階)に備えてあります。あわせて、市ホームページからもダウンロードできます。

③希望される特認校において、学校長の面接を受けていただきます。

### ■審査

就学の条件、申し込みの状況、学校の受け入れ体制等を考慮し、市教育委員会が提出された申請書を審査し、1月末日までに決定の通知をします。

### ■特認校就学の取り消し

就学を許可した後、申請の事実と異なり、または特認校制度の趣旨・目的に添わない事由が生じ、支障があると認められるときは、特認校就学を取り消すことがあります。

### ■対象者・要件

- ①市内に住所があり、小学校就学予定児童および現在小学校在学児童。
- ②保護者の責任で通学できる児童。
- ③特認校の教育内容について理解・賛同し、PTA活動・行事等にも積極的に参加・協力できること。
- ④1年以上の通年通学ができること。

### ■申し込み要領

- ①希望校へ前もって電話等で見学の申し込みを行い、学校見学の日時を決定してください。  
※学校見学は、希望される特認校をよくご理解いただくために行うもので、当日は、児童同伴で見学していただき、あわせて、校長との話し合いも十分におこなってください。
- ②学校見学を行った後、就学を希望される場合は、「特認校就学申請書」に

### 問い合わせ

制度や手続きについて…………… 学校教育課 ☎86-8020 ☎86-8380

✉ koka30101200@city.koka.lg.jp

学校見学や教育内容について… それぞれの特認校へお問い合わせください。

### 【申し込み受付期間】

平成24年11月15日(木)～平成25年1月11日(金)

但し、土・日曜日、祝日および12月29日から1月3日を除きます

## 地域情報基盤整備事業

### 各戸への接続工事がはじまります

音声放送端末機設置のご承諾をいただいたお宅の接続工事を順次行います。

工事は区・自治会単位を基本として、左表の予定で工事を行います。

平成24年度 施工計画区域

信楽町	水口町(区・自区会表順)
全域	八田、春日、下山、伴中山、泉、酒人、植、宇田、北脇、虫生野、貴生川第1、北内貴、宇川、岩坂、高山、三三寺、三本柳、牛飼、杉中、松尾、中畑、新城、今郷、嶺、和野、1区、22区、林口、貴生川第3、南区、松尾団地、山手、柏貴、城が丘、つづじが丘、水口松尾台、本丸城内、あやの中央

○今年度の事業については、設置承諾書の提出状況や工事の効率を考慮し工事を進めていきますが、残る地区についても翌年度に工事を実施します。

○施工地区については、計画であり地域の実情に応じて変更する場合もあります。

○集合住宅は、施工方法が異なりますので、平成25年度以降の施工となります。

### ■接続工事の流れ

- ①端末機の設置場所等の事前調査のご連絡と日程調整を行います。
- ②事前調査に(株)あいコム(こうか)が伺い、工事と各種サービスの説明および工事日程の調整を行います。
- ③これらの後、接続工事を行います。接続工事には市が行う屋外の「引込工事」と(株)あいコム(こうか)が行う屋内の「宅内工事」があります。それぞれの工事が別の日程となる場合もあります。ご理解とご協力をお願いします。

### ■光ファイバーケーブル敷設工事のお知らせ

今月から土山・甲賀・甲南地域一円で光ファイバーケーブルの敷設工事を開始します。本工事において、通行規制などご迷惑をおかけいたしますが、ご協力いただけますよう、よろしくお願いたします。

●工事内容：光ファイバーケーブルを電柱へ架設

●工事時期：平成24年11月より順次施工

### 問い合わせ

情報基盤整備推進室  
☎65・0658  
☎63・4574



**防災訓練で被災地からのメッセージ**

「みんなの知恵と近助の精神で減災を！」をテーマに大久保区の防災フェアが10月21日、大久保児童センターで行われました。このフェアでは、避難訓練や防災に関するゲーム、クイズ、消防団による初期消火訓練、被害者救出訓練(写真)、炊き出し、チャリティーライブなど様々な催しが行われ、近所の助け合いの大切さを再認識しました。

また、被災地からのメッセージが電話による中継で伝えられました。東日本大震災の地震発生時の様子やその後の状況が伝えられ、震災を風化させないでほしい。被災地が苦しいところから立ち上がる姿を見守ってほしい。」との思いが被災地から参加者に寄せられました。

甲賀大原地域市民センター



## 山野草教室

大野地域市民センター

大野地域自治振興会の主催で「山野草教室」の2回目が10月11日に開催されました。

講師の島田美さんの指導で、「秋の寄せ植え」をテーマに作品づくりをしました。参加者は、ススキ、藤バカマ、秋丁字、山白菊などの山野草と、鉢には、赤玉、鹿沼土、桐生砂、エゾ砂などを使って思い思いの表現に取り組みました。出来上がった作品はどれも個性的で、秋の風情が溢れる素敵な仕上がりがりました。

鑑賞会では、完成した寄せ植えについて作者が解説を行ない、それぞれの作品を楽しみました。



**安心・健康明るい水口くみなくちフェスタ2012**

みなくち自治振興会主催の「みなくちフェスタ2012」が10月21日、水口小学校で開催され、多くの地域の方々で賑わいました。

「わがまちを 安心・健康・明るい 水口に」をテーマに、交通安全・消防防災・健康づくりなどの体験コーナーや古城山ウォークが実施されたほか、同会のアンケート調査の集計結果や夏祭り盆踊り大会の写真が展示されました。

また、北部および東部コミュニティセンターでは「防災かまどベンチ」を使用した炊き出し訓練が行われ、甘酒や具だくさんの豚汁が振る舞われ、地域や家族のふれあいを通してぎすぎすなを深める一日となりました。

水口地域市民センター



## 案内地図「天竺の郷多羅尾」が完成

多羅尾地域市民センター

多羅尾学区自治振興会は、多羅尾を訪れた観光客に地域の名所を知ってもらおうと、このほど案内地図看板を作成しました。

多羅尾の交番前に設置し、訪れた方に活用していただいています。

「天竺の郷」と名付けられたように、この地域は県下で数少ない標高500メートル以上の高地にあります。案内地図には、地域内3か所の展望スポットのほか史跡などが記されています。

名所を訪ねながら、紅葉の多羅尾を散策してみませんか？

なお、手持ち用散策マップの作成も企画されています。

自治振興会の活動内容を紹介しています

## 大野地域自治振興会

<http://00no.jp/>

基本方針(スローガン)

一人ひとりを大切に 深めよう大野の絆

大野地域自治振興会のホームページをご覧いただいたことはありますか？そこには地域の皆さんの笑顔がいっぱいあふれています。

当会では、笑顔の輪を広げようと、「健康・福祉」「生活・環境」「安全・防災」「産業振興」「教育・文化」「広報・啓発」の6つの部会を構成し、地域行事の伝承と創設をはじめ、地域課題の掘り起こしや研究などに取り組んでいます。

一人ひとりを大切に、さらに絆を深めあい、学区民一丸となって大野をより良くしていきたい。そんな熱意をもった多くの方々のおかげで、大野はますます輝きます。

**みんなで守り育てるために**

— 2大恒例イベントを実施 —

大野学区には、先人の方々が育ててこられた2大イベントがあります。

6月の区民祭と10月の運動会は、一年に2度、みんなが集い、互いに交流し、またの再会を願うかけがえのない事業です。

当会では、これらを大切に受け継ぐことから始めました。

**大野学区交流区民祭**

大野に夏の訪れを告げるこの区民祭も、今年で25回目を迎えました。

区民祭では、満開のさつきの花や手芸・毛筆・絵画・陶芸の作品など、皆さんの力作が並び、舞台では、舞踊・大正琴・オカリナ演奏など日頃の練習成果が発表されます。



▲大野学区交流区民祭

多彩な作品や舞台に、子どもからお年寄りまでが、歓声と笑顔につつまれる一日となります。



▲大野学区区民運動会

**大野学区区民運動会**

この運動会は、今年で32回目を迎える初秋恒例の行事です。綱引きや、ジャンボ縄跳び、リレーなどの種目が競われ、敵味方関係なく全員を応援する、熱気溢れる運動会です。

中でも中高生や若者といった年齢層の皆さんが参加し、活躍されるなど地域が一丸となって取り組みます。

**みんなの願いに寄り添うために**

— まちづくりアンケートを実施 —

大野地域自治振興会では、より良いまちづくりの目標となる「地域ビジョン」に、学区民

の意見を反映しようと「まちづくりアンケート」を昨年12月に実施しました。

アンケート結果では、生活の安心感を育てることや、安全で快適な生活基盤の整備といった、安心安全につながる取り組みを求める意見が6割を占めました。また、自然環境や地域産業を守り育てたいという意見も3割近くあります。

これらの意見をもとに、みんなの願いに寄り添いながら、知恵を生かして取り組むまちづくりを実現する自治振興会をめざします。

## みんなで大野を良くしていきたい

— 部会パワー全開 —

自治振興会が発足して以来、どの部会も、役員の方々の中心に、「大野を自分たちで良くしていきたい！」という情熱とパワーにあふれています。

それを原動力として、2大イベントの継承のほか、登校時の交通立ち番や街灯のLED化、花いっぱい運動、産業振興のための視察や人権研修、ふるさとウォークなどの事業に取り組んでいます。

これからも、学区民の安全と幸せをめざして、大野地域自治振興会はますます輝きます。

大野地域市民センター

TEL 067-00001

# 甲南中部小学校が大賞を受賞

FBC  
秋花壇

県、県教育委員会、中日新聞社主催の学校花壇の出来栄を競う「フラワー・ブラボー・コンクール」で、県内87校が参加した中、甲南中部小学校の秋花壇が最優秀賞の大賞に輝きました。

同校は、昭和56年度から毎年春・秋花壇ともに参加し、花の栽培を通して、命の尊さとみんなで協力することの大切さを学んでいます。



## ◆ テーマは「かがやく花と笑顔」

メイン花壇は「かがやく花と笑顔」をテーマに、6年生の服部悠汰さんがデザインしました。

学校がいつも花と笑顔いっぱいでありたいという願いが込められ、黄色のメランポを囲むように、赤白青のサルビアが配置されています。赤は花びら、白は笑い声、青はみんなが手をつなぎ、心が一つになっているところを表現しています。

## ◆ みんなの力で受賞

花壇の世話はフラワー委員会の8名が中心になって行

うほか、総合的な学習などの授業と毎月一回の昼休みを「FBCタイム」として全校で取り組んでいます。また、地域の方と協力して世話している校外花壇があり、校外花壇優秀賞(池田団地)もあわせて受賞しました。6年生の田中潤太委員長は「みんなの力で咲いた花で大賞をとれたのでとても嬉しい」と喜びを語りました。

# 地方税の電子申告サービス(eLTAX)のご利用を

エルタックス

甲賀市では、eLTAXによる地方税の電子申告がご利用いただけます。

## eLTAXのメリット

- 1 地方税の申告が持参や郵送をすることなく、自宅やオフィスからインターネットを利用し申告することができます。
- 2 複数の地方公共団体への申告について、まとめて一度に手続きができます。
- 3 eLTAX用ソフト「PC desk」で申告書の作成が簡単にできます。

## eLTAXの利用手続きについて

初めてeLTAXを利用される方は利用届出が必要です。eLTAXの詳しい内容や利用の届出、「PC desk」の概要や各種手続きについては(社)地方税電子化協議会へお問い合わせください。

### ① ホームページからの問い合わせ

<http://www.eltax.jp/> (eLTAXホームページ)  
※甲賀市では電子納税には対応していません。

### ② 電話による問い合わせ

(社)地方税電子化協議会サポートデスク  
☎0570-08-1459  
045-759-3931 (IP電話等)  
8時30分～21時(土日祝、年末年始を除く)

ご利用いただける税目	申告	申請・届出
法人市民税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定申告</li> <li>・確定申告</li> <li>・修正申告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人設立(設置)届</li> <li>・異動届出</li> </ul>
個人市民税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与支払報告書及び総括表</li> <li>・公的年金等支払報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別徴収義務者の所在地・名称変更届出</li> <li>・給与所得者異動届出書</li> </ul>
固定資産税(償却資産)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全資産申告</li> <li>・増加資産・減少資産申告</li> <li>・修正申告など</li> </ul>	

問い合わせ

税務課 市民税係  
☎65-0679 ☎63-4574

## 交通事故ゼロへの道

譲り合いの心が交差点事故を防ぐ

交通状況やマナーを確認するため、市内のある市街地の交差点で調査をしてみました。

そこは比較的交通量が多く、全ての方向への往来がある交差点でしたが、右折待ちの対向車両があるにもかかわらず、黄信号でも猛スピードで交差点に進入する車が多くみられました。

### ■横着な運転の先には重大な事故が

この交差点に限らず、信号が黄色に変わったとたんさらにスピードを上げたり、赤信号になってからも直進してくる車にヒヤッとしたことはありませんか。

こういった横着な運転には閉口しつつも、自身が運転される場合はいかででしょうか。

右折車が待っていることを確認しながらも、ついスピードが出ていて黄信号で交差点に進入してしまったという経験は無いでしょうか。

スピードが出ていないということは、重大な事故となる可能性が非常に高いと言えます。

もし事故になってしまったら、どちらが優先とか過失割合とかの前に、命の心配をしなければなりません。

### ■迷ったら止まるが原則

右折待ちの車両は1回の青信号で取り残されると、また次の青信号でも右折待ちをしなければなりません。それを避けようと次の青信号に変わる寸前に強引に右折したり、またそれが原因で歩行者に気付かず事故になったりします。

そういったことを避けるためにも直進する側に譲り合いの心が必要なのです。

直進車は赤信号で止まっても、次の青信号で通過できます。交差点に入する前に黄信号になった場合、迷っても後続車に注意しながら停止することを心がけてください。

交通法規を守ることは当然ですが、譲り合いの心が他の運転者にも伝わり、事故防止に繋がっていくのです。

## 県税・市税の納め忘れはありませんか?

県と市では、資力がありながら税金を納付しない方に対して、公平な負担の観点から地方税法に基づいた滞納処分(差押など)を行っています。特に12月は「滞納整理強化月間」として処分の強化を図ります。滞納している場合、財産(給与・預貯金・不動産等)を差押することがありますので、納期限内に納付しましょう。また、一度に納付が困難な場合は早めにご相談ください。



県と県内全市町では、公平な税負担と税収の確保を図るため、「滋賀地方税滞納整理機構」を設置し、連携・協働して県税と市税の滞納整理を推進しています

問い合わせ

市税：滞納債権対策課 滞納対策係  
☎65-0681 ☎63-4574  
県税：中部県税事務所 甲賀納税課  
☎63-6106 ☎63-0439

## のうぜい 掲示板

納期限までに!

うっかりも滞納!

ゼロ! 滞納

いつも忘れず納めよう!

### 《平成23年度市税における差押》

・件数	337件
・本税差押額	1億8677万円
・本税取立額	1848万円
・主な差押財産	預貯金、不動産、給与など

日頃の成果を発揮

第9回甲賀市民体育大会

市体育協会が主催する甲賀市民体育大会が10月13日と21日に甲賀市陸上競技場で開催されました。より多くの方に参加してもらえよう昨年からは、中学・高校生、一般が参加する1部と小学生、マスターズが参加する2部の2部構成としており、市内外から567名が参加しました。マスターズの5000メートルを最初に20種目が競われ、次々と新記録が樹立されました。2部大会では、はーと貴生川の北中裕也選手が「ゴールの向こうの新しい自分に出会うために精一杯プレーします」と選手宣誓を行い、出場者は、日頃の成果を発揮していました。



▲小学生女子100メートル決勝

光をまとめてユニークな作品に

LED工作教室

土山小学校で10月11日、LED工作教室が行われ、3年生27名が参加しました。

子どもたちは、事前に制作した工作物にLEDを取り付け、6色の光が点滅するロボットやクリスマスツリーなどの作品づくりに挑戦しました。

この教室は、日本電球工業会が中心となり全国の小学校で行っているもので、市内にも事業所があるNECライティング株式会社の技術者が指導員として参加しました。

LEDの特長について説明を受けた後、結線の作業をし、点滅のスピードを調節したり、綿に包んだりして光を効果的に使ったユニークな作品を完成させました。



▲ちゃんとつくな

ふるさと料理に舌鼓

甲賀調理師会食育事業

柏木小学校で10月10日、地元で採れた食材を使った調理実習が行われ、6年生31名が甲賀調理師会の方に教わりながら、長さ10メートルもある巻き寿司などに挑戦しました。この事業は、ふるさと料理普及事業として同会が毎年実施しており、地元で給食用の農産物を育てる「食育畑」の生産者も協力し、旬の野菜を提供しています。今回提供されたかぼちゃは、素材そのものの甘みを生かしたハンバーグに調理されました。巻き寿司には、地元産の米やかんぴょう、シイタケの旨煮などがたっぷり巻かれ、子どもたちは、完成した料理に舌鼓を打っていました。



▲力を合わせて10メートルの巻き寿司に挑戦

「まなび」を通して異世代間交流

まなびの体験広場2012・甲賀市エコフェスタ

まなびの体験広場と甲賀市エコフェスタが10月27日、忍の里プララで同時開催され、多くの方が訪れました。

市内の小学生を対象としたまなびの体験広場では、間伐材を使ったヒノキのコースター作りや昔遊びなど様々な体験ができ、市内の高校生や、シルバー人材センター会員の皆さんなどが講師として参加しました。

中でも甲南高校の液体窒素を使った実験では、身近なものが瞬時に凍る様子に、子どもたちは声を上げて驚いていました。

また、エコフェスタでは、フリーマーケットや地産地消コーナーが設けられたほか、省エネ診断などが行われ、環境のために各家庭で取り組めることを学ぶ機会となりました。



▲折り紙で昔遊びを体験

いつもの散歩に防犯意識をプラス「わん」

岩上自治振興会によるわんわんパトロール隊発足式が10月21日、岩上体育館駐車場で行われ、愛犬10匹と飼い主など22名が参加しました。「わんわんパトロール」とは、愛犬家が、毎日の犬の散歩時に不審者を見かけた場合には通報したり、子どもや高齢者の見守りを行ったりし、安心・安全な地域づくりにつながる取り組みです。市内では、今年6月に土山地域で発足し、不審者による声掛けなどの発生件数が減少するなど、効果が現れています。会員証などが手渡された後、巡回パトロールを行い防犯を呼びかけました。現在、登録されている犬の数は43匹で、同会では今後さらに隊員を募り、年末の一斉見守りなど組織的な活動にむけて取り組まれます。

秋の里山体験



▲竹に巻いたパン生地を炉であぶる

里山で自然体験をする催しが10月21日、水口町松尾の里山で行われ、市内の親子58名が参加しました。平成24年度市民協働事業に採択されているこの事業は、NPO法人甲賀の環境・里山元気会が市と協働して行うものです。当日は、のこぎりを使って薪を作ったり、きのこの観察や里山ならではの遊びをしたりして秋の里山を楽しみ、自然の大切さや人と自然の関わりを学びました。中でも「竹パン」作りは、竹の棒にパン生地を巻きつけ、炉であぶって焼くもので、子ども達は、熱に耐えながら狐色に焼き上げ、できたての手作りパンを味わいました。

岩上自治振興会わんわんパトロール隊発足式



▲目印のバンダナを贈られる愛犬

催し

日本舞踊「菊美範会」20周年記念舞踊公演

●日時 / 11月25日(日) 12時開場 12時30分開演
●場所 / 陶芸の森産業展示館信楽ホール
●入場料 / 無料
問 / 菊美範会 大平
☎82-1299

募集

「美味しく学んですっきり教室」

●日時 / 12月4日(火) 10時～13時
●場所 / 水口保健センター
●対象 / 甲賀市民で19歳～64歳の方
●定員 / 先着20名
●内容 / 栄養・生活習慣病に関する基礎知識、お手軽な運動実技
※健康づくり自主グループお手製の弁当がです
●参加費用 / 500円(昼食代込)
●持ち物 / 筆記用具、動きやすい服装
●申込締切 / 11月27日(火)
問・申 / 健康推進課 健康増進係
☎65-0737 / ☎63-4591

「健診(検診)カレンダー」に広告を掲載しませんか

●掲載場所 / 平成25年度健診(検診)カレンダー 裏表紙の裏面等(枠指定はできません)
●発行時期 / 平成25年3月中(予定)
●広告の規格 / ①縦5cm×横12cm ②縦5cm×横5.5cm ③縦2.5cm×横10cm

●募集枠数 / ①を4枠・②を4枠・③を4枠(募集数により変更あり)
●広告料金 / ①は50,000円 ②は25,000円 ③は15,000円(税込み)
●申込期間 / H24年11月15日(木)～12月10日(月)(土日祝日除く)
●申込方法 / 申込書・原稿・納税証明書の3点を提出ください。詳細は市のホームページでご確認ください。
問・申 / 健康推進課 健康政策係
☎65-0703 / ☎63-4591

甲南公民館 暮らしとまちづくり講座「プリザーブドフラワー教室」受講生募集

●日時 / 12月23日(日) 14時～16時
●場所 / 甲南公民館(忍の里プララ)
●内容 / お正月用プリザーブドフラワーアレンジメント
●受講料 / 3,100円(材料代)
●対象 / 市内在住・在勤の18歳以上の方
●定員 / 先着20名
●申込締切 / 11月24日(土)
●申込方法 / チラシの受講申込書に必要な事項を記入の上、受講料を添えて甲南公民館へご提出ください。チラシは各中央公民館、甲南地域の各市民センター、社会教育課にあります。
問 / 甲南公民館
☎86-3036 / ☎86-8119

お知らせ

認知症啓発シンポジウム～認知症になっても笑顔で過ごせるまちをつくらう～
●日時 / 11月27日(火) 13時30分～16時(13時受付開始)

●場所 / かぶか生涯学習館
●プログラム /
第1部 基調講演「医療から見た生活の中での認知症」講師 / 南草津けやきクリニック 宮川正治医師
第2部 シンポジウム テーマ「『認知症です』と語り合える地域を作ろう」コーディネーター / 宮川正治医師
★入場無料、申込不要。
問 / 長寿福祉課 地域支援係
☎65-0699 / ☎63-4591

人権教育連続セミナー

■第12回
●日時 / 12月6日(木) 19時30分～21時12分(上映時間102分)
●場所 / 忍の里プララ
●内容 / 映画『希望のシグナル』—自殺防止最前線からの提言—
※参加無料
問 / 人権推進課
☎65-0693 / ☎63-4582

お詫びと訂正

11月1日号で下記の誤りがございました。お詫びして訂正します。

P2 とれたての新鮮をブランドに
● 杉谷ナス
● 杉谷なすび

P10 ゲートボールで育んだ親睦
● 第10回 忍者の里杯親善ゲートボール大会
● 第20回 忍者の里杯親善ゲートボール大会

裏表紙 こうかギャラリー

● 城戸 歩菜さん
● 城戸 歩奈さん

甲賀市信楽高原鉄道沿線地域公共交通総合連携計画(案)へのご意見募集

市では、市民の大切な移動手段として大きな役割を担う信楽高原鉄道の持続的な運行をめざすため「甲賀市信楽高原鉄道沿線地域公共交通総合連携計画(案)」を取りまとめ、広く市民等の皆さんからのご意見を募集します。

お寄せいただいたご意見は、計画を決定する際の参考にさせていただくとともに、住所、氏名などの個人情報を除き、協議会の考え方を整理したうえで公表します。

- ◇募集期間 / 11月16日(金)から29日(木)の14日間
◇閲覧場所 / 甲賀市ホームページ、政策推進課、地域市民センター(旧支所)の各窓口
◇意見を提出できる方 / 市内に在住、在勤、在学の方
◇意見の提出方法 / 住所、氏名、電話番号、在勤・在学の方は勤務先や学校の名称、意見のあるページ番号などを記入し、直接提出いただくか、郵送(11月28日(水)必着)、FAX、Eメールで提出してください。

提出先・問い合わせ

政策推進課 〒528-8502 水口町水口6053番地
☎65-0672 ☎63-4554 ✉koka10041000@city.koka.lg.jp

元気な毎日は食事が基本

市内でも土山地域は高血圧の人が多い傾向にあります。高血圧を改善するためには、食事をはじめとする生活習慣を見直す必要があります。

そこで土山地域では、大野学区交流区民祭で、「1か月体重1Kg減量」「塩分1日1g減塩」「野菜1日350g摂取」をテーマに食事バランスガイドのパネル展示や1日分の食事例などを使って啓発活動を行いました。

食事例は、1日の摂取カロリー1,800Kcal、塩分7.2g以内で調理した3食を展示し、実際に見てももらうことで1日にどれだけの量の野菜が必要かなどを実感してもらいました。

また、子ども向けにも「食事はバランスよく」「朝食はめかさない」「めざせ野菜大好き」をテーマに毎日の食事の大切さを呼びかけました。

食事は、からだづくりの基本です。元気な毎日を過ごすために規則正しい生活習慣とバランスのとれた食事を心がけましょう。

\*食事例メニュー\*

Table with 3 columns: 朝食 (ご飯、具だくさんみそ汁、卵入りおろし納豆、小松菜とじゃこの炒め煮、果物(りんご)), 昼食 (バターロールサンド、焼き野菜のサラダ、牛乳、果物(ぶどう)), 夕食 (ご飯、さわらのホイル焼き、根菜の中華風炒め、白菜のピーナッツ和え)



▲来場者にパネルを使って説明



▲調理した食事例を展示

問い合わせ 健康推進連絡協議会事務局(健康推進課) ☎65-0703 ☎63-4591

鳥獣害対策ニュース No.39

狩猟免許(網、わな、第二種銃猟)取得を支援します

◎狩猟免許取得支援補助事業

市では狩猟免許取得に対する補助制度を実施しています。

●対象 / 市内に住所を有し、新規(更新を除く)に狩猟免許を取得した人

●条件 / 一人一回限りで、申請は当該年度の試験に限りです。また、二種類以上の狩猟免許を取得した場合は、一種類のみとします。

●補助限度額 / 10,000円(人(但し、予算の範囲内))

●申請 / 申請受付期間は11月中旬とします。

※提出書類等詳細については下記までお問い合わせください。

◎滋賀県イノシシ特定鳥獣保護管理計画が策定されました

滋賀県では、近年農作物被害が拡大しているイノシシについての特定鳥獣保護管理計画が策定されました。(計画期間は平成24年11月15日から平成29年3月31日まで)当計画では、農作物被害面積および農作物被害金額を減少させ、人イノシシのすみわけを図ること

◎狩猟期間が始まります

滋賀県では11月15日から翌年2月15日(二ホンジカ・イノシシに限っては3月15日)までは狩猟期間となります。入猟にあたって狩猟者に対して徹底した指導を行っています。不慮の事故を防ぐためにも狩猟者に分かりやすい服装で山に入るなど、十分に注意してください。

産業経済部 鳥獣害対策室
☎65-0734
☎63-4592







甲賀市の花・木・鳥



花 ササユリ 木 スギ 鳥 カワセミ

● 今月の納税等 ●

- 国民健康保険税(8期)
- 保育料・幼稚園使用料
- 介護保険料(8期)
- 後期高齢者医療保険料
- 公共下水道使用料・農業集落排水施設使用料・処理施設使用料

納期限は11月30日(金)です

市税等の納付には、便利な「口座振替」をご利用ください。

編集・発行

甲賀市役所

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地  
☎0748-65-0650 ㊟0748-63-4554

甲南庁舎

甲賀市甲南町野田810番地  
【上下水道部】  
☎0748-86-8000 ㊟0748-86-8032  
【教育委員会】  
☎0748-86-8002 ㊟0748-86-8380

市民窓口センター

甲賀市水口町水口6053番地  
☎0748-62-1621 ㊟0748-63-4086

土山地域市民センター

甲賀市土山町北土山1715番地  
☎0748-66-1101 ㊟0748-66-1564

甲賀大原地域市民センター

甲賀市甲賀町相模173番地1  
☎0748-88-4101 ㊟0748-88-3104

甲南第一地域市民センター

甲賀市甲南町野田810番地  
☎0748-86-4161 ㊟0748-86-8029

信楽地域市民センター

甲賀市信楽町長野1203番地  
☎0748-82-1121 ㊟0748-82-3415

※上記4つの地域市民センターは、旧支所の地域市民センターで、従来の支所機能を有します。

「広報あいこうか」がホームページでもご覧いただけます!

● 甲賀市ホームページ

<http://www.city.koka.lg.jp/>

『広報あいこうか』の名称は市民憲章のそれぞれの頭文字を並べてできる「あい こうか」から名付けています。市民憲章とともに皆さんに親しまれる広報紙をめざします。



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用した FSC 認証用紙を使用しています。



▲お話を伺った  
片山工場長

ドイツに本社を置くバイエルは、ヘルスケア、農薬関連、素材科学の領域を中核事業とし、グローバル企業として世界各国に展開しています。

当工場は、日本におけるバイエルの医薬品製造拠点として、医療用医薬品を中心に生産、供給し、皆さんの「より良い暮らし」に貢献しています。

**革新的な技術力で  
患者さんの負担を軽減**

高血圧・狭心症治療剤「アグラートCR錠」、高リン血症治療剤

■ 信頼の品質でより良い暮らしに貢献  
■ **バイエル薬品株式会社**  
■ URL : <http://byl.bayer.co.jp>

「ホスレノールチュアブル錠」を主力製品とし、原料の調製から最終製品の包装まで一貫製造しているほか、海外工場で製造された錠剤・注射剤の製品の検査や包装を行うなど約30種類を扱っています。

体内で溶け出す時間が異なるよう設計された「アグラートCR錠」は、内核錠と外層部の二層構造を持ち、日一回の服用で効果が持続します。

その製造には、内核を確実に中央へ配置する必要があり、1秒間に25錠という高速スピードで全数検査を行っています。

**日本の患者さんの  
ニーズに合わせた薬剤を**

当工場の役割は、日本の患者さんのニーズに合わせた薬剤を安定



▲錠剤製造工程(無人搬送車で運搬)

供給することです。

革新的な技術力によって生産するだけでなく、日本人に合わせ服用しやすい形に改良したり、国が法規で定める規準よりも厳しい独自の品質管理基準を設けて品質を管理し続けています。

また、工場全体で取り組む改善活動を継続して行い、コスト削減を行うとともに技術の向上につなげています。

今後も信頼の品質をお届けできるよう取り組んでまいりたいと思います。

(執行役員 プロダクトサプライ本部長  
滋賀工場長 片山 博仁氏談)

**DATA**  
操業開始：昭和54年  
従業員数：約3000名  
所在地：甲賀町鳥居野121番地1  
☎88-5660 ㊟88-5663

甲賀市工業会についての問い合わせ  
甲賀市工業会事務局(商工政策課)  
☎65-0709 ㊟63-4087

\*このコーナーでは、甲賀市工業会に加盟されている、ものづくり企業を紹介していきます。



甲賀ポン蔵 ©2008 甲賀市工業会

編集後記

今回、柏木小学校の調理実習を取材しました。メニューのひとつには、地元産のお米をはじめかんぴょうなどを使用した長巻き寿司があり、子どもたちはおいしそうにほおぼっていました。

市内の小中学校では、「食育」の一環として地元産の食材を味わうほか、一年を通して田植えや稲刈りなどの体験学習が行われています。

私もこの間、初めて昔ながらの脱穀の作業を手伝う機会がありました。少しの間でしたが、大変な手間がかかっているのだと実感しました。

食卓に上るご飯を、作られた方に感謝しながら、おいしくいただきたいと思います。①

